

曇	一月十六日	内務巡視	一 一四三。ヨリ部隊長ハ本部内ノ内務巡視ヲ實施
火	セラル	岡南軍曹以下三十九名班内ニ整列ス	於屋嘉部不時勤務
勤	務三	前日ニ同シ	二 上田兵長以下四名經理室便役ニ從事ス
現	員四	人員	其ノ他前日ニ同シ
		内分	造
		後	發
		本部勤務	二名
		軍犬	五頭
曇	一月十七日	保線	一 上田兵長以下五名糸敷方面線路補修強化作業ヲ
於屋嘉部	二	石九六日命第一四號拔萃左ノ如シ	
	二	第二中隊	陸軍一等兵 柴田寬
		第三中隊	同 川端末吉
		第四中隊	同 樋口正廣
		第五中隊	同 平岩輝美
			右者陸軍上等兵ヲ命ス
勤	務三	前日ニ同シ	
現	員四	人員	奈良少尉以下五十三名
		内分	造
		後	發
		本部勤務	二名
		軍犬	五頭

曇	一月十六日	内務巡視	一 一四三。ヨリ部隊長ハ本部内ノ内務巡視ヲ實施
火	セラル	岡南軍曹以下三十九名班内ニ整列ス	於屋嘉部不時勤務
勤	務三	前日ニ同シ	二 上田兵長以下四名經理室便役ニ從事ス
現	員四	人員	其ノ他前日ニ同シ
		内分	造
		後	發
		本部勤務	二名
		軍犬	五頭
晴	一月十七日	保線	一 上田兵長以下五名糸敷方面線路補修強化作業ヲ

水	實施ス
於屋嘉部演習	一三三。岩本兵長以下六名出發九四式六號無線機ノ通達距離測定ヲ廣良原ヲ基點トシ富里方 向へ實施ス
親覽	一八三。ヨリ玉城國民學校中庭ニ於テ慰問映畫實施サル 全員觀覽ス
日命	四 石九六日命第一六號拔萃左ノ如シ 三 陸軍兵長 飼田昇
勤務	五 前日ニ同シ 右者暗號書交付ノ爲明十八日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ中頭郡北谷國民學校ニ出張ヲ命ス
現員	六 人員 奈良少尉以下五十三名 内分遣 一名
一月十八日	軍犬 六名 本部勤務 二名 五頭
曇	一月十八日軍犬病死 一。二。三。軍犬「アルダー」號急病死ス 病名不明ナ
於屋嘉部演習	木 二 岩本兵長以下六名九四式六號無線機ノ通達距離測定ヲ系教ヲ基點トシ仲榮真方向ニ實施ス 三。九。〇。飼田兵長ハ暗號書交付ノ爲中頭郡北谷國民學校ニ出張ス
出	張 二 岩本兵長以下六名九四式六號無線機ノ通達距離測定ヲ系教ヲ基點トシ仲榮真方向ニ實施ス 三。九。〇。飼田兵長ハ暗號書交付ノ爲中頭郡北谷國民學校ニ出張ス
設	定 四 一四。〇。隊長以下三名保線場偵察ノ隊爲出發 系教第二區ニコレヲ設定シ一五ニ。歸隊ス
日命	五 石九六日命第一七號拔萃左ノ如シ

三	第一中隊	陸軍一等兵	梅村政己
	第二中隊	同	上野正美
	第四中隊	同	前田睦男
	右者兵精勤章ヲ附與ス(昭ニ。一。一五附)		
	四左ノ通り本部日直將校ニ服務スベシ		
	一月十九日	陸軍少尉	奈良健
會	報六	石九六會第一六號	拔萃左ノ如シ
	二入浴場設置使役兵トシテ通信小隊ヨリ兵五名ヲ		
	自一月二十日至一月二十二日間毎日八時三十分迄ニ		
	經理室前ニ差出シ武藤主計中尉ノ指示ヲ受ケ		
	ルゴト		
勤	務七	前日ニ同シ	
現	員八人員	奈良少尉以下五十三名	
	内	分	遣 一名
	後	發	六名
	本部勤務		二名
	軍犬		四頭

一月十九日	撤收		
墨	一	上田兵長以下五名ハ全線路ノ不用線撤收作業ヲ	
全	實	施ス	
於屋嘉部	出	場	
	二	一三。宮城伍長以下十名ハ師團長防衛隨時檢	
	閱	ノ演習對抗部隊トシテ六三高地ニ出發遠藤大	
	尉	ノ指示ヲ受ケ準備演習ヲ實施一六四。歸隊	
	ス		
日	命三	石九六日命第一八號	拔萃左ノ如シ
	一	陸軍少尉	奈良健
	石兵團會報參列、為明二十日即日歸隊、豫定		

ヲ以テ石第一八八ニ部隊ニ出張ヲ命ズ	ニ對抗部隊要員トシテ作業小隊ヨリ下士官以下二十名通信小隊ヨリ下士官以下十名ヲ明十九日ヨリ別ニ示ス日時迄毎日十三時迄ニ六三高地ニ差出シ遠藤大尉ノ指シヲ受クヘシ	服装前項ニ同シ (十八日日々命令追加)	四對抗部隊ニ關係アル中隊小隊ヨリ明十九日十時三十分迄ニ命令受領者ヲ本部ニ差出スベシ	勤務四 本部日直將校 奈良少尉	其ノ他前日ニ同シ	現員五 人員 奈良少尉以下五十三名	内分遣 一名	後發 六名	本部勤務 二名
-------------------	--	---------------------	---	-----------------	----------	-------------------	--------	-------	---------

一月二十日 保線	軍犬 四頭	晴	一 上田兵長以下四名志堅原及富里方面線路補修	土	強化作業實施ス	於屋嘉部 不時勤務	二 上野一等兵以下五名經理室使役トシテ入浴場設置實施ス	出張三	〇八三。奈良少尉ハ師團會報參列ノ為仲間ニ出張シ一七三。歸隊ス	歸隊四	〇九〇。飼田兵長ハ中頭部ニ出張中ノ處歸隊ス	出場五	一三〇。宮城伍長以下十名ノ對抗部隊要員出發六三高地ニ至リテ遠藤大尉ノ指シヲ受ケ準備演習實施一七二。歸隊ス
----------	-------	---	------------------------	---	---------	-----------	-----------------------------	-----	--------------------------------	-----	-----------------------	-----	--

日	命六	石九六日命第一九疏拔萃左ノ如シ	三師團長防衛隨時檢閲受檢計畫別紙ノ如シ	別紙	一月二十二日 自。九二〇 至。九四〇	本部内務實視	一。將校以下各室ニ待機受檢スルモノトス 二。八五〇是ニ夫々定位ニ在ルヘシ	勤務七	部隊衛兵 永宮兵長以下五名	週番下士官 飼田兵長	週番上等兵 小野田上等兵	交換所 佐々木一等兵以下二名	電信所 渡邊上等兵	電報班 泰上等兵	現員八人員 奈良少尉以下五十三名	内分遣 一名	後發 六名	本部勤務 二名	軍犬 四頭	一月二十一日内務實施	晴 一。午前中全員ヲ以テ内務實施ス	日延線	於屋嘉部三。九〇。上田兵長以下八名出發隨時檢閲受檢演習場設備ノ爲志堅原一六三高地間通信線延線作業實施シ一三。歸隊ス	閉所三 中頭郡北谷國民學校ノ後發隊ニ配屬中ノ五疏無線分隊ハ旅團ト連絡中ノ處一〇。閉所撤收ス	警報四 一一。空襲警報發令サル	行動五 合内監視ヲ除ク全員對空射擊部隊トシテ校庭
---	----	-----------------	---------------------	----	-----------------------	--------	---	-----	---------------	------------	--------------	----------------	-----------	----------	------------------	--------	-------	---------	-------	------------	-------------------	-----	---	---	-----------------	--------------------------

	北側ニ配備ス
	一二五〇敵機ハ機南方ヨリ侵入シ來ルモ我上空ヲ
	高度那覇方向ニ通過ス
解除六	一二三〇空襲警報解除ナル
出 場七	對空射撃部隊ノ配備ヲ解キ丙號戰備ニ移行ス 一三三〇宮城伍長以下十名ノ對抗部隊要員演習
	場ニ出發ス
解除八	一七三〇警戒警報解除ナル
歸 隊九	一七三〇對抗部隊演習場ヨリ歸隊ス
勤務	前日ニ同シ
現 員	入員 奈良少尉以下五十三名
	内 分 遣 一名
	後 發 六名
	本部勤務 二名

軍犬 四頭

一月二十二日警報	晴後曇 一〇六三〇空襲警報發令サル
月行動	於屋嘉部ニ直ニ兵器重要書類等ノ分散掩蔽ヲ實施スルト共 ニ對空射撃ヲ準備ス
	無線通信所ハ常時傍受ヲ開始ス
	空襲警報發令直後敵機侵入シ來ルモ殆ド我上 空ヲ高度通過ス
出 場三	〇七三〇宮城伍長以下十名ノ對抗部隊要員ハ演 習場ニ出發ス 同時演習場勤務者塚本上等兵以 下十一名同ジク演習場ニ出發ス
電信所移動四	敵機ノ第二波第三波ハ絶エズ上空ヲ旋廻中ナリ 〇八〇〇ニ至リテ無線通信所ヲ西側洞窟内ニ移

動ス

命令受領五 一三。石十五作命第五號ヲ受領ス

作 命六 石十五作命第五號拔萃左ノ如シ

一 敵ハ本島ニ於ケル飛行場ノ壊滅ヲ企圖シアル

モノ、如ク其ノ艦砲射撃ヲ受ケルノ算大ナリ

三 各隊ハ左ノ如ク敵ノ艦砲射撃ニ對シ準備スベ

シ

ハ兵器彈藥糧秣其ノ他ノ軍需資材ヲ徹底

的ニ疎開掩蔽ス

ス人員馬匹ハ艦砲射撃ニ對應シ得ル洞窟ニ

退避準備ス

三 偽裝遮蔽ヲ徹底的ニ實施シ特ニ進路上

其ノ他陣地周邊ヲ彷徨セザルコト

ム地方人ノ指導ヲ適切ニシ流言蜚語ノ流布

ニ注意ノコト

行 動七 班ハ直々ニ退避準備ヲ實施ス コレガ為交換所

ノ系數陣地移動準備及コレニ伴フ線路ノ變更準備

ヲ實施スバク上田(定)兵長以下六名一三三

〇出發ス 物資ノ掩蔽ハ先ニ實施完了シアリ

永宮兵長以下二名ハ道路ニ位置シ通過地方人ノ

指導ニ任ズ

歸 隊八 一三。宮城伍長以下二一名ノ演習出場員歸隊

ス

配 備九 敵機ハ絶エズ上空ニアリテ奥武島銃撃等漸ク

島尻郡ニモ攻撃ヲ指向シ來ル

一三。〇岩本兵長以下二名對空射撃部隊トシテ

校庭北側ニ配備ス

警 報。一八三。空襲警報解除ワレタルモ一九三五再ビ發

令ナル 對空射擊部隊ハ配備ヲ解ク
 解除ニ。五。空襲警報解除ナル

爾後嚴戒裡ニ夜ヲ徹ス

日 命ニ 石九六日命第二。號拔萃左ノ如シ

一 來ル一月二十四日十五時三十分ヨリ玉城國民學校
 々庭ニ於テ故陸軍兵長福屋學以下四柱ノ告別
 式ヲ執行ス

依テ左ノ通り心得ヘシ

又 第三中隊機關銃 歩兵砲中隊ハ勤務ニ支障ナキ
 全員其ノ他ノ隊ハ各級代表者各一名參列スル
 モノトス

ヲ 隊形ハ祭壇ニ面シ第三中隊機關銃中隊歩兵砲
 中隊各級代表者、順序ニ中隊ノ縱隊大隊ノ
 横隊トシ隊間ハ六歩トス

又 服裝ハ儀式ノ場合ノ軍裝トシ略綬佩用トス
 三 別紙、若陸軍建第五三號ニ依リ兵精勤章ヲ
 附與ス (一月二十日附)

別紙

第三中隊 陸軍兵長 銅田昇

第四中隊 同 上田喜義

同 陸軍上等兵 泰正

同 同 大西周太郎

第五中隊 陸軍一等兵 赤石武美

勤務三 前日ニ同シ
 現員四 人員 奈良少尉以下五十三名

内 分 遣 一名

後 發 六名

本部勤務 二名

月二十三日	出 場	軍 犬	四 頭
晴	一〇八〇。宮城伍長以下十名ハ師團長防衛隨時		
火	檢閲ノ演習對抗部隊專員トシテ演習場ニ出發ス		
於屋嘉部	〇八〇。上田兵長以下十一名演習場勤務兵トシテ		
	演習場ニ出發ス		
内務實視	〇九二〇ヨリ師團長防衛隨時檢閲ノ本部内務實		
	施實施サル		
	受檢人員隊長以下十八名ナリ		
	〇九五〇終了ス		
歸	隊 一三〇〇演習對抗部隊並ニ勤務兵歸隊ス		
休	養 五 一三〇〇ヨリ休養トス		
解	除 六 一六三〇警戒警報解除サル		
日	命 七 石丸六日命第一號拔萃左ノ如シ		
勤	一左ノ通り本部日直並巡察將校ニ服務スベシ		
現	一月二十四日 本部日直將校 奈良少尉		
勤	務 八 前日ニ同シ		
員	九 人員 奈良少尉以下五十三名		
	内 分 遣 一名		
	後 發 六名		
	本部勤務 二名		
	軍 犬 四頭		
一月二十四日	撤 收		
晴	一〇八〇。辻下上等兵以下二名演習場ニ架設セシ		
水	通信線撤收ノ為出發一一〇。歸隊ス		
於屋嘉部	不時勤務		
	二 經理室便役ニ齊藤上等兵以下五名服務ス		
出	張 三 〇九〇。田南軍曹ハ業務連絡ノ為旅團ニ出張シ一		

出	三二。歸隊ス				
出	三四。谷口軍曹以下八名天倉隊附近民家出火現場ニ出動消火作業ニ協力一五〇。歸隊ス				
告別式	一五三。ヨリ玉城國民學校々庭ニ於テ故陸軍兵長福屋學以下四柱ノ告別式執行サル 隊長以下各級代表者四名參列ス				
到	著六 西村上等兵以下六名ハ中頭郡北谷國民學校ニ於テ後發隊勤務中ノ處一九〇。到著復歸ス				
會	報七 石九六會第ニ。疏按萃左ノ如シ				
	六左記ニ依リ月例身體検査ヲ實施ス				
左記					
月	日	時間	受檢部隊	場	所
一月二十五日	二〇		通信	本部醫務室	
勤務八 部隊衛兵 竹内上等兵以下五名					

其ノ他前日ニ同シ

命令受領	九 二〇。石十五作命第六號ヲ受領ス
作	命 石十五作命第六號按萃左ノ如シ
	一 大隊ハ狀勢ノ變化ニ依リ現諸作業ヲ中止シ築城資材、整理ヲ實施セントス
	二 各隊ハ明二十五日ヨリ作業ヲ中止シ築城資材、整理ヲ實施スベシ
	三 細部ニ關シテハ別ニ指示スルモ特ニ防諜ニ注意スベシ
大隊長細部指示	
	一 諸準備ハ概ネ平安山ヨリ現在地ニ轉移シタル要領ニ依リ本月末迄ニ完了スル如ク實施スルモノトス
	七 通信 全部携行スルモノトス

行	動	二	有線半永久施設作業並ニ築城作業ヲ本日ヲ以テ打切り爾後轉移準備ニ移行セントス
現	員	三人	員 奈良少尉以下五十三名
		内	分遣 一名
			本部勤務 二名
			軍犬 四頭
			一月二十五日 出張
晴			一。八。上田(定)兵長ハ業務連絡、為旅團ニ出張
			木ス 一。五。歸隊ス
			於屋嘉部輸送
			二。八。三。岩本兵長以下五名出發栢嶺驛ヨリノ荷物輸送ヲ實施一。五。歸隊ス
			身體検査三 一。一。ヨリ大隊本部醫務室ニ於テ實施サレシ
			月例身體検査ヲ全員受檢ス

學	科	四	一。三。ヨリ四十分岡南軍曹ハ班内ニ於テ無線子
勤	務	五	前日ニ同シ
現	員	六	人員 奈良少尉以下五十三名
		内	分遣 一名
			本部勤務 二名
			軍犬 四頭
			一月二十六日 演習
曇			一。九。岩本兵長以下九名出發九四式六號無線機
			全、通達距離測定、為玉城城趾ヲ基點トシ志堅原
			於屋嘉部 方向ニ實施シ一。二。歸隊ス
日	命	二	石丸六日命第二四號拔萃左ノ如シ
			四 第一中隊 陸軍軍曹 岡南 弘
			第三中隊 同 谷口 弘

勤務三	右頭書ノ中隊附ヲ命ス
	五通信班 陸軍軍曹 岡南弘
	同 同 谷口弘
	右頭書ノ勤務ヲ命ス(以上一月十一日附)
	二通信班 陸軍一等兵 淺井徳志
	右者當分ノ間本部情報室ニ於テ勤務スベシ
勤務三	日直將校 奈良少尉
	情報室勤務 淺井一等兵
	其ノ他前日ニ同シ
現員四	人員 奈良少尉以下五十三名
	内分遣 一名
	本部勤務 二名
	軍犬 四頭
一月二十七日演習	

勤務三	於屋嘉部日命
	一岩本兵長以下九名志堅原附近ニ於テ九月四日六日
	無線分隊演習ヲ實施ス
	二石丸六日命第二五號拔萃左ノ如シ
	三 陸軍少尉 奈良健
	免通信班長
	陸軍中尉 天倉廉一郎
	四 命通信班長 (以上一月二十五日附)
	週番下士官 上田(定)兵長
	週番上等兵 石塚上等兵
	電信所 渡邊上等兵
	交換所 前田上等兵以下二名
	暗號班 小野田上等兵
	情報室 淺井一等兵

現員 四人員 天倉中尉以下五十三名



内分 遣 一名

本部勤務 二名

軍犬 四頭

一月二十八日 撤收

晴後曇 一〇八三。永宮兵長以下二十名出發志堅原一屋嘉

日 部間ノ通信線撤收作業ヲ實施シ一二〇。歸隊ス

於屋嘉部 休養

二一三〇ヨリ休養ス

分 遣 三一三〇。塚本上等兵ハ稻嶺荷物集積連絡所ニ分

遣ヲ命セラレ出發ス

命令受領 四一六〇。石十五作命第一〇。號、第一二號ヲ受領ス

作 命 五 石十五作命第一〇。號、第一二號ヲ受領ス

二、遠藤大尉ハ先遣隊長トナリ正記兵カヲ指揮シ

明二十九日〇八〇。出發浦添村中西附近ニ到リ

轉移準備並設營ニ任ズベシ

左記

通信班 下士官 一 兵 三

三、各隊長ハ前項兵カヲ明二十九日〇七三〇迄ニ本

部ニ差出シ遠藤大尉ノ指揮ニ入ラシムヘシ

六、石十五作命第一二號、拔萃左ノ如シ

二、石田中尉ハ左記兵カヲ指揮シ速ニ軍需資材

ノ輸送ヲ開始スルト共ニ主力出發後ニ於ケル殘

務整理ニ任ズベシ

左記

通信班 下士官 一 兵 五

三、各隊長ハ前項兵カヲ明二十九日〇八〇。現在地

ニ於テ石田中尉ノ指揮ニ入ラシムベシ